



CC5000-10



Customer Concierge

製品リファレンス ガイド

CC5000-10 CUSTOMER CONCIERGE

製品リファレンス ガイド

MN-002970-01JA

改訂版 A

2017 年 5 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電氣的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約 (ライセンス プログラム) に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェア プログラムに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面によるZebraの同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebraの著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebraは信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加える権利を有しています。Zebraは、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra Technologies Corporation の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01	2017 年 05 月	初期リリース

目次

改訂版履歴	iii
 このガイドについて	
概要	vii
構成	vii
アクセサリ	vii
章の説明	viii
表記規則	viii
サービスに関する情報	ix
 第 1 章 : はじめに	
概要	1-1
メモリ	1-1
ソフトウェア	1-1
CC5000-10 Customer Concierge の機能	1-2
CC5000-10 の部品	1-2
機能およびポートの説明	1-3
 第 2 章 : 設置	
概要	2-1
背景画面	2-2
設定画面	2-3
WLAN ネットワークへの接続	2-4
LAN ネットワークへの接続	2-4
Zebra の付加価値コンポーネント	2-5
StageNow	2-5
DataWedge	2-5
EMDK	2-5
MXMS	2-6

Enterprise Home Screen	2-6
Enterprise Keyboard	2-7

付録 A: 標準のデフォルト パラメータ

概要	A-1
クリーニングとメンテナンス	A-1
トラブルシューティング	A-2

索引

このガイドについて

概要

このガイドでは、CC5000-10 Customer Concierge 製品について説明します。この製品を使用すると、お客様のセルフサービス ニーズに対応できる電子カスタマー コンシェルジュを作成できます。

構成

CC5000-10 では、次の 2 つのメモリ構成を使用できます。
1 GB RAM / 16 GB の内部ストレージ、1 GB RAM / 64 GB の内部ストレージ。

アクセサリ

CC5000-10 を電源に接続するには、各国対応の AC 電源コードと、電源ブリック(PWR-BGA12V50W0WW)、および DC ケーブル CBL-DC-388A1-01、マウンティング キット(KT-152096-02) が必要です。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- **第 1 章、はじめに**では、Concierge デバイスの概要を示し、機能とポートについて説明します。
- **第 2 章、設置**では、CC5000-10 を WLAN および LAN ネットワークに接続して [設定] にアクセスし、Zebra の付加価値コンポーネントに関する情報を入力する方法について説明します。
- **付録 A、標準のデフォルト パラメータ**では、メンテナンス、および CC5000-10 に関連するトラブルシューティング情報を掲載しています。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- CC5000-10 は、Concierge (コンシェルジュ) とも呼ばれます。
- Courier New フォントはコード セグメントに使用します。
- **太字**は次の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - ダイアログ ボックス名、ウィンドウ名、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - 画面のフィールド名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - ファイル名
 - ディレクトリ名
- **太字** は、次のものを強調するために使用します。
 - パラメータ、オプション名
 - スクリーン上のアイコン
 - キーボード上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要のある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。
- メモ、注意および警告は次のように表示されます。



注 このシンボルは、特別な関心事や重要事項を示します。注意を読まなくても、スキャナ、機器、またはデータに物理的な損害が生じるわけではありません。



注意 このシンボルが付いた情報を無視した場合、データまたは器具に損害が生じる場合があります。



警告! このシンボルが付いた情報を無視した場合、身体に深刻な傷害が生じる場合があります。

サービスに関する情報

お使いの機器に問題が発生した場合は、地域担当の Zebra Technologies サポートにお問い合わせください。問い合わせ先情報については、以下の Web サイトをご覧ください。<http://www.zebra.com/support>

Zebra Technologies サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号

Zebra では、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra Technologies サポートが問題を解決できない場合、修理のため装置をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切な形で搬送すると、保証が無効になる場合があります。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合のサポートについては、購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第 1 章 はじめに

概要

Concierge は、カスタマーを小売店のデジタル サービスに接続するアプリケーションの開発を可能にするために構築された、エンドツーエンドのアプリケーション プラットフォームです。世界最大のモバイル プラットフォームである Android のすべてのパワーによってサポートされた Concierge アプリケーションは、消費者が必要とするユーザー インタフェースと同じ直感的なユーザー インタフェースを提供します。

CC5000-10 キオスクには、エンドユーザーであるカスタマーが情報を調べたり、購入を行ったり、特価商品の案内を受けたり、カスタマー サービスを受けるために音声またはビデオですぐにサポートに接続したりすることができるように構成できるリッチなインタラクティブ プラットフォームです。

✓ **注** このセクションで示されているスクリーン ショットはサンプルであるため、**ホーム**画面とその他のアイコンは、システム管理者が有効にしているアプリケーションによって異なる場合があります。

メモリ

CC5000-10 の標準システム構成には、システムファームウェア、ユーザーアプリケーション、およびデータの格納用に 1 GB RAM / 16 GB の内部ストレージおよび 1 GB RAM / 64 GB の内部ストレージが含まれます。

ソフトウェア

標準でサポートされているオペレーティング システムと開発ツールによって、5.1.1 Lollipop OS をベースとした CC5000-10 でのアプリケーション開発が容易になります。

CC5000-10 Customer Concierge の機能

✓ 注 CC5000-10 デバイスのイラストは、例として記載されているだけです。実際のデバイスは、デバイスのイラストとは異なる場合があります。

CC5000-10 の部品

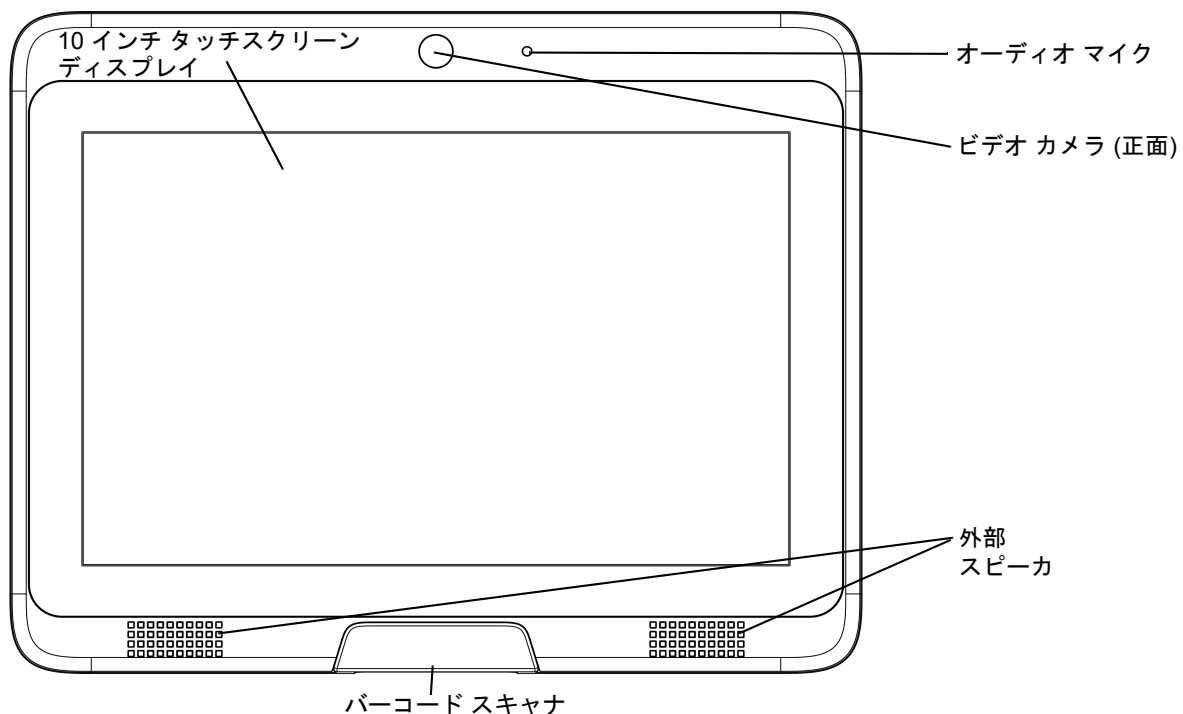


図 1-1 正面図

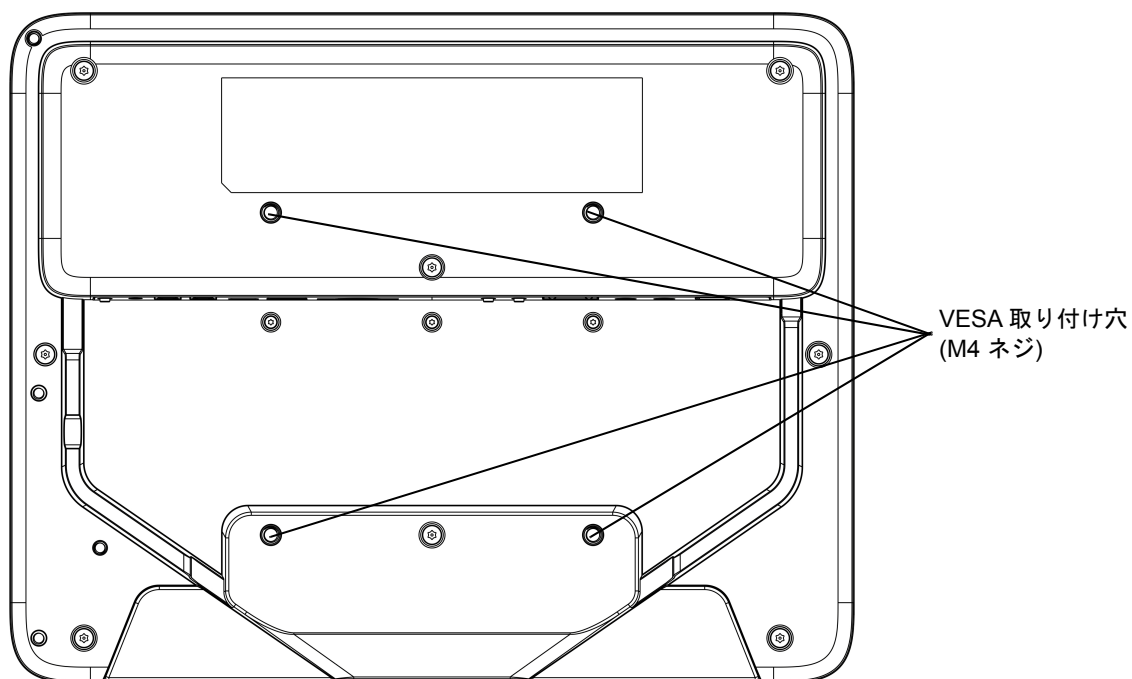


図 1-2 背面図

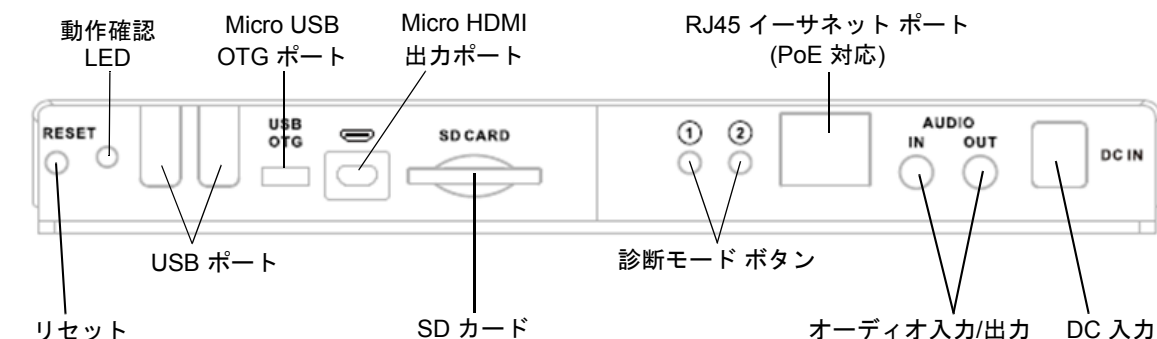


図 1-3 ポート

機能およびポートの説明

表 1-1 CC5000-10 の機能

機能	説明
動作確認 LED	<p>システムの状態を表示します。このLEDは、エンドユーザーからは見ることはできず、診断モードで使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆっくり点滅 = 高速起動モード すばやい点滅 = 復旧モード、またはデバイスの起動中
オーディオ マイク	<p>ユニット背面のオーディオ入力マイク 1 個、オーディオ出力マイク 1 個は音声などの用途向けです。</p>
バーコード スキャナ ウィンドウ	<p>CC5000-10 バーコード イメージャは、1D バーコードおよび 2D シンボル体系を、スキャナ ウィンドウに提示されたときに読み取ります。</p>
ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ボタン 1: ユーザーがプログラミングすることはできません。 ボタン 2: ユーザーがプログラミングすることはできません。
Ethernet ポート	<p>CC5000-10 は PoE (802.3at) をサポートします。</p>
外部ポート	<p>デバイスの背面にある CC5000-10 外部ポート (HUB) には、背面のアクセス パネルを取り外すとアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 つの USB ポート。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスの背面にあるマイクロ USB 2.0 ホスト/クライアント ポート (USB On-The-Go [OTG])。 周辺機器への接続用の USB 2.0 ホスト ポート 2 個。 Micro HDMI ビデオの既定の出力。 SD カード: 256 GB までの SD カードをサポートしています。 オーディオ入力: 外部マイク用の外部 3.5mm ポート。 オーディオ出力: ステレオ アナログ オーディオ出力用の外部 3.5mm ポート。
スピーカ	<p>CC5000-10 は、マルチメディア アプリケーションに使用できる内蔵スピーカを搭載しています。</p>

表 1-1 CC5000-10 の機能 (続き)

機能	説明
タッチ スクリーン ディスプレイ	<p>タッチ スクリーンでは、タブレットユーザーが使い慣れた機能や、最適なユーザー エクスペリエンスを提供するように設計された機能を使用できます。また、ピンチやズーム、縦方向および横方向のスクロール、スワイプ ジェスチャなどの機能がサポートされています。</p> <p>CC5000-10タッチスクリーンディスプレイは、音量、輝度、コントラスト、入力などについて、標準の工場出荷時構成で出荷されます。</p>
VESA 取り付け穴 (M4 ネジ)	<p>CC5000-10 は、100mm X 100mm VESA Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface (FPMPMI™)マウント規格に準拠している市販のブラケットを使用して柱、棚、または壁に取り付けることができます。</p> <p>CC5000-10の取り付け方法については、次のサイトの『Concierge CC5000-10 Set Up and Installation Guide』 (p/n MN-02973-xx) を参照してください。 www.zebra.com/support</p>
ビデオ カメラ	<p>CC5000-10 は、1080p の高精細ビデオに対応する 8 メガピクセル カメラを搭載しています。ビデオ カメラは、リアル タイムのビデオ コラボレーションやその他のビデオ 利用例に使用できます。</p>

第 2 章 設置

概要

この章では、CC5000-10 を WLAN および LAN ネットワークに接続して [設定] にアクセスし、Zebra の付加価値コンポーネントに関する情報を入力する方法について説明します。

CC5000-10 の取り付け方法については、次のサイトの『**Concierge CC5000-10 Set Up and Installation Guide**』(MN-02973-xx) を参照してください。www.zebra.com/support

背景画面

- ✓ **注** 既定では、CC5000-10 にはお客様が利用するアプリケーションは含まれません。電源を入れると、空白の画面に標準のコントロール ボタンとアプリケーションのドロワ アイコンが表示されます。
- CC5000-10 では、**ホーム**または**起動プログラム** アプリケーションとして作成された任意の Android アプリケーションを**ホーム画面**として設定できます。この目的のために最も使用されている Zebra アプリケーションは、**Enterprise Home Screen** で、ユーザーと管理者の権限が許可されます。詳細については、[2-6 ページのEnterprise Home Screen](#)を参照してください。

CC5000-10 をオンにすると**背景画面**が表示されます。CC5000-10 ユニットにはお客様が利用するアプリケーションは含まれません。電源を入れると、空白の画面にナビゲーション バーが表示されます。



図 2-1 背景画面

設定画面

✓ **注** 図 2-2 の設定画面は、Android 5.1.1 で表示される既定の設定画面です。設定変更の詳細については、Android のオンライン マニュアルの各種設定を参照してください。

設定 (イーサネット、Wi-Fi、アプリケーションなどの設定) を選択し、接続するには、次の手順に従います。

1. アプリケーションアイコン (図 2-1 を参照) を選択して、アプリケーションのメニューを開きます。
2. 設定アイコン (⚙️) を選択して、[設定] メニューを表示します。

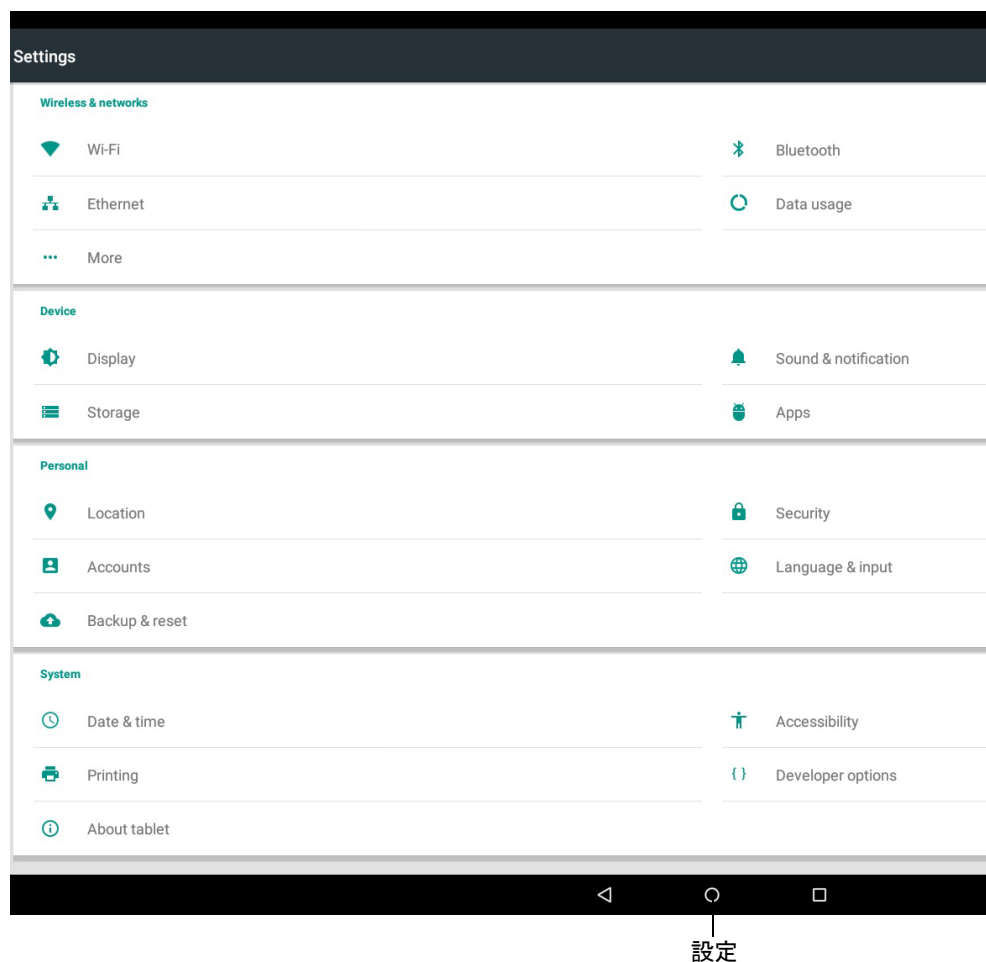


図 2-2 設定画面

WLAN ネットワークへの接続

WLAN ネットワークを設定するには、次の手順に従います。

1. **設定アイコン** (⚙️) をタッチします。
2. **Wi-Fi アイコン** (📶) をタッチします。
3. Wi-Fi スイッチがオフの場合は、**[オン]** の位置にスライドさせます。
4. **[Wi-Fi]** をタッチします。CC5000-10 はエリア内の WLAN を検索して一覧表示します。
5. リスト内をスクロールして、使用する WLAN ネットワークを選択します。
6. オープン ネットワークの場合は、**[接続]** をタッチします。または、セキュア ネットワークの場合は、必要なパスワードや他の認証情報を入力して、**[接続]** をタッチします。
7. Wi-Fi の設定フィールドに、**[接続済み]** が表示され、CC5000-10 が WLAN に接続されていることが示されます。

LAN ネットワークへの接続

LAN ネットワークを設定するには、次の手順に従います。

✓ **注** イーサネットが使用中の場合、Wi-Fi 接続は使用されません。イーサネット ケーブルを取り外すと、最後に信号を受信した Wi-Fi 接続が再確立されます。

1. 本装置の背面にあるイーサネット ポートにイーサネット ケーブルが接続されていることを確認します。
2. **設定アイコン** (⚙️) をタッチします。
3. **イーサネット アイコン** (🌐) をタッチします。
4. イーサネット スイッチがオフの場合は、**[オン]** の位置にスライドさせます。

Zebra の付加価値コンポーネント

Lollipop OS 版 CC5000-10 には、以前のバージョンよりも多様なソフトウェア開発キットが含まれています。CC5000-10 では、共通の Android Mobility Zebra SDK とアプリケーションをサポートするフレームワークを使用しています。他の Zebra Android デバイス向けにすでに記述されている多くのアプリケーションは、変更なしまたは小規模な変更のみで実行できます (すべての CC5000 アプリケーションをランドスケープモードで実行する必要があります)。

- ✓ **注** 関連する CC5000-10 の付加価値のある Zebra Android コンポーネントを十分に活用するために、これらの付加価値ソフトウェアモジュールに慣れ親しんでおくことをお勧めします。

StageNow

StageNow は Zebra Android デバイスを迅速かつ確実に設定および導入します。StageNow を使用してデバイスを導入する方法については、次のオンライン マニュアルを参照してください。

1. はじめにお読みください: <http://techdocs.zebra.com/stagenow/2-6/about/>
2. はじめに: <http://techdocs.zebra.com/stagenow/2-6/gettingstarted/>
3. ステージクライアントによるステージング: <http://techdocs.zebra.com/stagenow/2-6/stageclient/>

DataWedge

DataWedgeは、Androidを実行しているZebraデバイス向けにバーコードスキャンと処理サービスを提供しています。すべての Zebra デバイスに付属している DataWedge を使用すると、デバイス上のすべてのアプリケーションは、(標準のものか後で追加されたかにかかわらず) スキャナ API を直接使用することなくスキャンされたデータを取得することができます。DataWedge は、特定のアプリケーションが起動しているときは自動的にスキャンサービスを提供したり、特定のスキャナ、リーダー、またはセンサを使用したり、取得したデータを単純なオプションや複雑なルールに従って操作するよう容易に設定できます。DataWedgeの詳細情報については、次のオンライン マニュアルを参照してください。

1. はじめにお読みください: <http://techdocs.zebra.com/datawedge/6-2/guide/about/>
2. DataWedge の設定: <http://techdocs.zebra.com/datawedge/6-2/guide/setup/>
3. DataWedge の詳細設定: <http://techdocs.zebra.com/datawedge/6-2/guide/advanced/>

EMDK

Android 向け EMDK は、企業のモバイル コンピューティング デバイス向けの強力な業務アプリケーションを容易に作成できる包括的なツールセットを開発者に提供します。また、Google の Android SDK と Android Studio で使用するために設計されています。Android 向け EMDK には、クラス ライブラリ、ソース コードが含まれたサンプル アプリケーション、アプリケーションがデバイスの機能を最大限に活用するための関連マニュアルが含まれています。EMDK を活用するための詳細情報については、次のオンライン マニュアルを参照してください。

1. はじめにお読みください: <http://techdocs.zebra.com/emdk-for-android/5-0/guide/about/>
2. アプリケーションの例: <http://techdocs.zebra.com/emdk-for-android/5-0/samples/>
3. EMDK プログラマ ガイド: <http://techdocs.zebra.com/emdk-for-android/5-0/tutorial/>

MXMS

MX Management System (MXMS) は XML ベースの通信フレームワークで、Zebra Android の機能と動作を管理するための共通インタフェースを提供します。フレームワークで使用する XML 文書は、**オープンモバイルアライアンスクライアントプロビジョニング(OMA-CP)**の仕様および **Microsoft の MSPROVDTD** 形式に準拠しています。フレームワークは、開発者と管理者に組織のデバイスを構成および管理するための、拡張可能で効率的、信頼性が高く適用性の高い手段を提供します。MXMS は、基盤となるデバイス上の CSP が提供する機能を明確にするため、権限を持つ API と権限のない API への一貫したアクセスが可能になります。各 CSP は、MDM ツールキットに含まれる DSD ファイルを使用して、それぞれの機能を明確化します。特定のデバイスまたはデバイス セットの DSD ファイルとともにロードされる DSD ファイルは、XML コードを生成することができます。この XML コードは、デバイス上で実行されている MXMS に送信されたときに、デバイスの構成や動作を変更することができるものです。MXMS の詳細情報については、次のオンライン マニュアルを参照してください。

1. **はじめにお読みください:** <http://techdocs.zebra.com/mx/overview/>
2. **バージョンの選択:** 次に示す手順に従って、適切なバージョンを選択します。
<http://techdocs.zebra.com/mx/choosing-a-version/>
3. **互換性:** このセクションでは、デバイスでサポートしている CSP を選択する方法について説明します。OSX と MX の適切なバージョンを選択するには、前述のセクションに従います。Android のバージョンは 5.1 Lollipop です。

✓ **注** CC5000-10 では TouchManagerCSP、EncryptionManagerCSP、BatteryManagerCSP はサポートしていません。

Enterprise Home Screen

Enterprise Home Screen は、Zebra Technologies が提供する無料の Android アプリケーションで、管理者がカスタム コードを記述することなく Zebra デバイスのアプリケーションや設定へのアクセスを制御するための簡単な手段を提供します。シンプルなタッチ インタフェースを使用するだけで、Enterprise Home Screen (EHS) によって 1 つまたは複数の指定したアプリケーションの使用を制限したり、デバイス設定の変更を回避したり、ファイルシステムをロックダウンすることができます。設定は数秒程度で完了し、MDM から導入できます。EHS の設定は XML ファイルに格納され、必要に応じて容易に読取りや手作業での編集が可能です。

EHS は、標準の Android アプリケーションの起動プログラムとホーム画面に追加することで動作します。最初の起動時に表示される画面で、起動するホーム アプリケーションの選択を求められ、その選択を永久に有効にするかどうかを確認されます。選択のダイアログをスキップすることで、EHS を既定の起動プログラムとしてインストールすることもできます。EHS の詳細情報については、次のオンライン マニュアルを参照してください。

1. **EHS の設定:** <http://techdocs.zebra.com/ehs/2-5/guide/setup/>
2. **詳細設定:** これらの設定は、ブート時にアプリケーションを自動的に実行し、キオスク モードで動作するよう CC5000-10 を設定する場合に必要です。<http://techdocs.zebra.com/ehs/2-5/guide/settings/>

Enterprise Keyboard

Enterprise Keyboard: Enterprise Keyboard (EK) は、Zebra デバイスにデータを入力するための生産性の高い手段を提供できるよう設計されたソフトウェアの入力デバイスです。Enterprise Keyboard は、標準の Android キーボードを基盤としてプログラム可能なキーを追加し、言語とキー レイアウトを素早く切り替え、アプリケーション内のデータを直接スキャンする機能を持ちます。EKの詳細情報については、次のオンラインマニュアルを参照してください。

1. はじめにお読みください: <http://techdocs.zebra.com/enterprise-keyboard/1-3/guide/about/>
2. EK の設定: <http://techdocs.zebra.com/enterprise-keyboard/1-3/guide/setup/>
3. EK のカスタマイズ: <http://techdocs.zebra.com/enterprise-keyboard/1-3/guide/settings/>

付録 A 標準のデフォルト パラメータ

概要

この付録では、CC5000-10 のクリーニング、メンテナンス、およびトラブルシューティングについて説明します。

クリーニングとメンテナンス

- クリーニングの前に必ず、製品の電源を切ってください。
- タッチスクリーンの表面は、水で薄めた市販の窓ガラス用洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れを拭き取ります。
- ディスプレイ筐体は、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れを拭き取ります。
- 先が尖っていたり、硬いものでディスプレイの画面に触れないでください。
- クリーニングには、研磨洗浄剤やワックス、溶剤を使用しないでください。
- 次のような条件の下で、本製品を稼働させないでください。
- 極端な高温、低温、または高湿度の環境。
- 強力な磁場を生成する機器の近辺。
- 直射日光の当たる場所。

トラブルシューティング

表 A-1 考えられる問題と解決方法

問題	ソリューション
ディスプレイに画像が表示されません。	CC5000-10 が電源コンセントに接続されているかどうかを確認します。接続されていない場合は、装置を電源に接続します。
ディスプレイに画像が表示されません (CC5000-10 は電源に接続されています)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
タッチスクリーンが機能しません。	ディスプレイの近くに障害物がないかどうかを確認します。障害物がある場合は、取り除いて、CC5000-10 を再起動します。
タッチスクリーンが機能しません (ディスプレイの近くに障害物はありません)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
バーコード スキャナの前にバー コードを配置したときにスキャナが赤色で点滅しません。	CC5000-10 の周囲を明るくして、再実行します。スキャンがうまくいくまで、このサイクルを継続します。
(照明が適切な環境でも) バーコード スキャナの前にバーコードを置いたときにスキャナが赤色で点滅しません。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
バーコード スキャナは赤色で点滅しますが、 [スキャンが受信されました] というメッセージが CC5000-10 に表示されません。	スキャンしているバーコード タイプを処理するためにバーコード スキャナの構成が必要である場合があります。バーコード スキャナをプログラミングするには、『 PL3307 Decoder Integration Guide 』 (p/n 72E-149624-xx) を参照してください。 問題が解決しない場合は、サポートにお問い合わせください。
音がしないか、音量が低くなっています。	ソフトウェアの音量を最大レベルにします。
ソフトウェアの設定が正しくありません。	CC5000-10 の構成を担当しているデバイス管理者に問題を報告してください。これは、店舗のローカルの管理者である場合もあれば、リモートの従業員である場合もあります。
Wi-Fi または Ethernet 接続が機能していません。	CC5000-10 の近くに障害物があれば、取り除いて、1 分後にもう一度テストします。
Wi-Fi または Ethernet 接続が機能していません (CC5000-10 の近くに障害物はありません)。	ローカルの管理者がいる場合は問題を報告してください。管理者が、デバイスが正しく構成されていることを確認できるはずです。問題が解決しない場合は、IT 管理者に問い合わせてください。
MDM サーバーでデバイスがオンラインになっていません。	Wi-Fi または Ethernet が接続されていることを確認します。

表 A-1 考えられる問題と解決方法 (続き)

問題	ソリューション
MDM サーバーでデバイスがオンラインになっていません (Wi-Fi または Ethernet は接続されています)。	デバイスが正しい日付と時刻に設定されていることを確認します。
CC5000-10 に [アプリケーションが応答していません] というメッセージが表示されます。	これは、問題が発生しているとは限りません。 [待機] をクリックし、デバイスが問題なく機能し続けるかどうかを確認します。
CC5000-10 に [アプリケーションが応答していません] というメッセージが表示されます (メッセージが繰り返し表示されます)。	デバイスをリブートします。問題が解決しない場合は、問題をサポートにご報告ください。
CC5000-10 がブートしません (またはリブートし続けます)。	サポートにお問い合わせください。装置の交換が必要である可能性があります。
CC5000-10 が、許容できない音量に既定で設定されています。	デバイス管理者に、 [設定] -> [サウンド] -> [既定の音量] で既定の音量を設定してもらいます。
CC5000-10 が、許容できない言語に既定で設定されています。	デバイス管理者に、 [設定] -> [言語] -> [既定の言語] で既定の言語を設定してもらいます。
上記以外の問題が発生しました。	デバイスをリブートします。問題が解決しない場合は、問題をサポートにご報告ください。

索引

数字

機能	
動作確認 LED	1-3

E

Ethernet	
トラブルシューティング	A-2
ポート	1-3

H

hdmi	1-3
------	-----

R

RS-232	1-3
--------	-----

S

SDK	1-1
SD カード	1-3

W

Wi-Fi	
トラブルシューティング	A-2

お

オーディオ出力	1-3
オーディオ入力	1-3
オーディオ マイク	1-3

か

ガイドでの斜体の使い方	.viii
ガイドでの中黒の使い方	.viii
ガイドでのフォントの使い方	.viii
ガイドでの太字の使い方	.viii
開発者	
情報	1-1
外部ポート	1-3

き

規則	
表記	.viii
機能	
Ethernet ポート	1-3
SD カード	1-3
オーディオ入力 / 出力	1-3
オーディオ マイク	1-3
外部ポート	1-3
正面図	1-2
スピーカ	1-3
タッチ スクリーン	1-4
取り付け穴	1-4
バー スキャナ ウィンドウ	1-3
ビデオ カメラ	1-4
ボタン	1-3

さ

サービスに関する情報	ix
サンプル コード	1-1

し

情報、サービス	ix
シリアル ポート	1-3

す

スキャニング

バーコード スキャナ ウィンドウ	1-3
バーコード スキャニング	1-3
ストレージ、内部メモリ	1-1
スピーカ	1-3

そ

ソフトウェア	1-1
--------------	-----

た

タッチ スクリーン	1-4
-----------------	-----

と

取り付け穴	1-4
-------------	-----

ひ

ビデオ	1-1, 1-4
表記規則	viii

め

メモリ	1-1
-----------	-----



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

Zebra および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、その商標の各所有者が権利を有しています。

©2017 ZIH Corp and/or its affiliates. All rights reserved.

MN-002970-01JA 改訂版 A - 2017 年 5 月

